

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	イースタン州コウ・イースト郡にて、MDG5（妊産婦の健康の改善）が達成される。
(2) 事業内容	<p>2011年（平成23年）11月～2012年（平成24年）4月までに実施された事業内容と経過は以下の通り。</p> <p><u>全体</u></p> <p>イ) <u>RHセンターを拠点としたサービスの提供</u></p> <p>① <u>コトソ RHセンターの建設</u> RHセンターの建設は、2011年11月の着工から2012年4月の時点まで遅滞なく進んでおり、4月下旬の段階で、建物の屋根および配電・配管工程が終了している。今後は、天井部分と塗装等の工程を経て、6月中旬に施工完了の予定。 工程表（計画および4月末までの実績）、申請段階の設計図からの軽微な変更箇所、および施工状況の写真は別添②コトソ RHセンター建設進捗報告書[英文]を参照。</p> <p>② <u>医療機材の調達</u> 免税資格をもつガーナ保健局(GHS)が、調達担当部局（SSDM）を通して、調達手続きを進めている。3月に調達公示済み、4月～6月にかけて、入札、書類審査、調達業者の選定・契約が行われ、6月から9月にかけて、機材の調達・設置が行われる予定である。</p> <p>ロ) <u>BCC戦略の策定</u> プロジェクトのBCC戦略の策定を目的とした専門家派遣とワークショップ実施を2012年3月に予定していたが、コトソ RHセンターに赴任する医療スタッフが参加してBCC戦略を策定する必要があるとの判断から、活動を6月に実施することとなった。</p> <p>ハ) <u>草の根でのRH啓発活動</u> 下半期の活動開始にむけての準備作業を実施。コトソ RHセンターのレファラル車両配置後（5月予定）、まずは車両搭載の拡声器を通じて、RHセンターでの保健医療/リプロダクティブ・ヘルス・サービスの開始予定告知や、サービスに関する周知・啓発活動を行う予定である。</p> <p>ニ) <u>コミュニティ参加型マネジメントシステムの構築</u> 後述のプロジェクト開始会合において、申請時に計画していたRHセンター運営委員会設置の必要性および職掌(Terms of Reference/TOR)案が改めて協議され、関係者間で合意した(別添③コトソ RHセンター運営委員会職掌(TOR)案)。</p>

ホ) 適切なモニタリング・評価とプロセスドキュメンテーション

① モニタリング・評価計画策定ワークショップの開催

プロジェクト開始直後の2011年11月24日に、コウ・イースト郡アベティフィ (Abetifi) の郡役所集会室においてワークショップを開催した。ワークショップを通じて、プロジェクトのモニタリング・評価に用いる指標と、その指標の収集頻度/手段が関係者間で共有・確認され、後述のプロジェクト開始会合での協議・改訂を経て、添付のモニタリング評価計画の形でまとめられた(別添④モニタリング評価計画[英文])。

RHセンターでのサービスは下半期後半の開始を予定しており、現時点では指標を用いた進捗確認をする段階には至っていないが、今後はこれらの指標を用いて、活動のモニタリング・評価を行う予定である。

② プロジェクト開始会合

2011年12月6日、コウ・イースト郡アベティフィの郡役所集会室において、25名が参加してプロジェクト開始会合を開催した。

同会合では、初めにプロジェクト開始に至った背景(コウ・イースト郡のリプロダクティブ・ヘルス/保健の状況)とプロジェクトの概要(目的・活動内容・期待される成果等)が、関係者間で改めて共有・確認された。次いで、プロジェクト第1年次活動計画が共有・確認され、実施三者(PPAG、GHS、ジョイセフ)の役割と責任の分担、プロジェクト運営委員会およびRHセンター運営委員会の役割・構成員・開催方法等について、協議が行われ、それぞれ添付の職掌(TOR)案が合意された。

その後、前述のモニタリング・評価計画策定ワークショップで策定された、モニタリング評価計画について、同ワークショップに出席できなかった会合参加者も含めて改めて確認・協議が行われ、指標の追加・一部改訂を行い、最終案がまとめられた。また、同会合で、関係者が一堂に会する機会を利用して、コトソRHセンター建設契約書およびプロジェクト関係三者の覚え書(MOU)の署名式も行った(別添⑤プロジェクト開始会合議事録[英文])。

③ プロジェクト運営委員会第1回会合

2012年4月17日に、イースタン州都コフォレディアの州保健局会議室において、14名が参加してプロジェクト運営委員会が行われた。

同会合では、運営委員会の構成員と役割が冒頭に改めて確認された後、2011年11月から2012年4月までのプロジェクト活動の進捗報告と、第1年次下半期(2012年5月~10月)の活動予定、第2年次の活動計画案が関係者間で共有され、承認された。

参加者間の討議において、コトソRHセンター建設が順調に進

	<p>捗している一方、コウ・イースト郡議会が費用負担をする予定のスタッフ居住棟建設については着工が遅れているので推移に注意し、必要に応じて、州行政局が郡議会との調整を含めて対処することで合意した（別添⑥プロジェクト運営委員会第1回会合議事録[英文]）。</p> <p>へ) その他</p> <p>① コミュニティ開始集会</p> <p>2011年12月5日および12月7日に、RHセンター建設予定地および次年度にCHPS診療所が建設される計5か所のコミュニティで、プロジェクトが正式に開始したことを地域住民に周知し、地域からの協力を求めることを目的とした、コミュニティ開始集会を実施した。</p> <p>12月5日に、センポア (Sempoa)・アグアジクロム (Aguadze Korm) 合同、シェウオホーデン (Hyewohoden) の2回、12月7日に、コトソ (Kotoso)、ボンクラセ (Bonkrase) の2回、合計4回の集会を行い、各集会で140人～300人の地域指導者と地域住民が集まった。</p>
(3) 達成された効果	<p>本プロジェクトが1年目で達成することを期待される目標は以下のとおりである。</p> <p>年次目標</p> <p>(1) RHセンターの完成 (RHセンターが完成し、質の良いサービスの提供が開始される)</p> <p>(2) 啓発活動の基盤確立 (効果的啓発活動実施の基盤ができる)</p> <p>(1)に関しては、半期の時点でサービス提供拠点 (SDP) となるコトソ RHセンター建設は予定通り進捗している。サービス提供に必要な機材調達については業者による競争入札が完了しており、年次目標達成のために必要な上半期の活動はほぼ完了した。</p> <p>(2)に関しては、上半期に予定されていたBCC戦略策定ワークショップが6月に延期されたことで、それに伴う啓発活動の開始も延期された。5月に予定しているRHセンターへのレファラル車両配置後から、住民への告知・周知活動を徐々に開始していき、住民への啓発活動はワークショップ後の6月以降に本格的に開始することになる。ただし、コミュニティ・ネットワーク構築のための基盤整備は進んでおり、2011年12月のコミュニティ開始集会を通じて地域指導者をはじめとする関係者の理解を得て、関係者との今後の協力関係を構築する端緒とすることができた。また、集会を通じて住民への周知も効果的に行われた。今後は、RHセンターの完成時期および医療スタッフの派遣時期に合わせ (2012年7月～8月を目途に) RHセンター運営委員会を設置し、月1回の定期会合を通じて機能させていく予定である。</p> <p>成果指標のモニタリングに関しては、2011年11月にモニタリング評価計画を策定して関係者に既に共有しており、RHサービス提供開始以降に、評価指標を収集し、定期的なモニタリングを実施していく予定である。</p>

<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>第1年次前半の主要な活動は、ほぼ予定通り進捗しており、1年次下半期以降の活動が計画通り進捗していけば、期待される成果が得られるものとする。</p> <p>現時点での留意事項としては、医療機材調達に遅れが出ないように、GHS調達担当部局(SSDM)との協議・進捗確認を綿密に行うことと、郡議会が建設費用を担う医療スタッフ居住棟の着工が遅れている点について、関係者との対応策を協議する必要がある点である。</p>
-------------------	---